

【弊社レギュレーターをご愛用頂いておりますお客様へ、定期的なオーバーホール実施のお願い】

レギュレーターはダイビング本数でタンク 100 本、または使用状況に関わらず 1 年に 1 回のオーバーホールを受ける必要があります。

定期的なオーバーホールを実施しないと、器材が正常に動作せず重大な事故に繋がる可能性があります。

定期的なオーバーホールで消耗パーツの交換を実施していないレギュレーターでは、ファーストステージの高圧シートの劣化・破損により、空気がセカンドステージから強く開放しになるフリーフローが起こることがあります。通常のフリーフローでは、セカンドステージ内部に残ってしまった空気を排気弁から抜いて、内部に水を入れることによって止まります。まず、マウスピース部分を手のひらで塞いで、空気の流出を防ぎ、そして、排気弁が水面方向に向くように、水中でセカンドステージを回転させると、排気弁から内部に残った空気が抜けて、フリーフローが止まりますが、高圧シートの破損によるフリーフローは止まらず、タンクの空気がなくなるまで、空気が強く出続けます。

もし、ダイビング中に高圧シートの破損による、空気が強く開放しとなるフリーフローが発生した場合は、そのままマウスピースを咥えて呼吸をしていると、肺が破裂する危険性があります。そのような場合には、セカンドステージを握りながら、マウスピースをくわえずに軽く口にあてて、余分な空気を唇の横から逃がすように隙間を作ると、水を飲むことなく呼吸をすることができます。さらにこのフリーフローが起こった時は、ナイフの柄でタンクを叩くなどしてバディを呼び、オクトパスブリージングによって浮上し、直ちにダイビングを終了してください。

また、レギュレーターの管理・使用で、ダストキャップを締め忘れての洗浄や、管理の悪いタンク（内部に水や汚れが堆積しているタンク）を使用したりすることで、レギュレーターのファーストステージが水没してしまう場合があります。水没したレギュレーターを、そのまま数か月放置しますと内部に残った水分により高圧シートの劣化・破損が通常より早く発生してしまい、1 年以内、100 本未満のダイビング使用であっても、高圧シートが破損し、セカンドステージから空気が強く開放しになるフリーフローが起こることがあります。管理・使用上でレギュレーターのファーストステージが水没したと思われる際は、1 年以内、ダイビング 100 本未満の使用であっても、必ずオーバーホールを実施ください。

安全で安心なダイビングのために、改めて、ご愛用のレギュレーターのオーバーホール実施状況をご確認頂き、1 年以内またはタンク 100 本以上ご使用の場合やレギュレーターの汚染や水没の可能性がある場合は、そのままではご使用せず、直ちにご購入店、又は当社商品取扱店へオーバーホールをご依頼ください。

今後ともビーイズム製品をご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。